

重要課題

Nittoグループでは、次のようなプロセスを経て重要課題を特定しています。

重要課題の抽出

Nittoグループおよびステークホルダー双方の視点から、重要課題を抽出します。(右図参照)

経営に関わる重要課題の特定

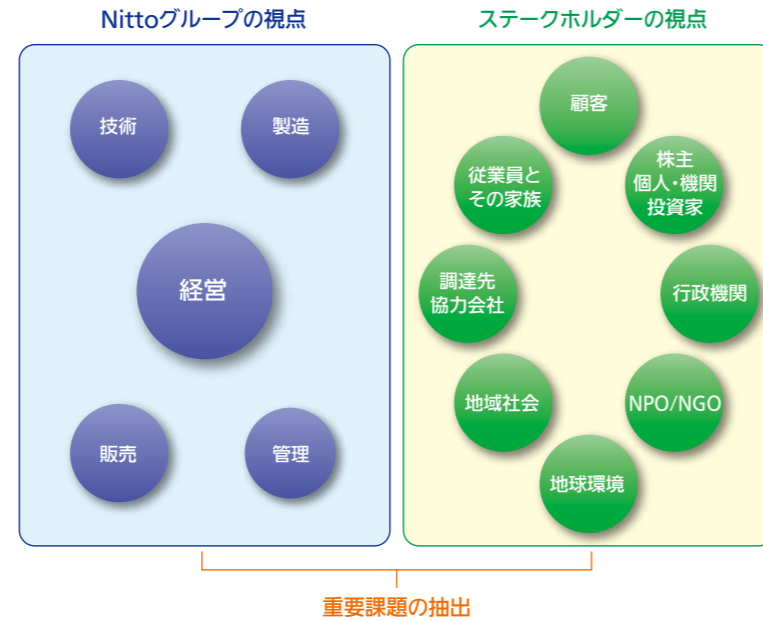
重要な経営課題は、経営会議体において審議の上、中期経営計画などに盛り込みます。

専門分野の重要課題の特定

各部門会議、委員会で絞り込んだ専門分野の重要課題は、予算審議会などで承認を得てそれぞれの方針や活動計画に反映されます。

レポートिंगの重要課題の特定

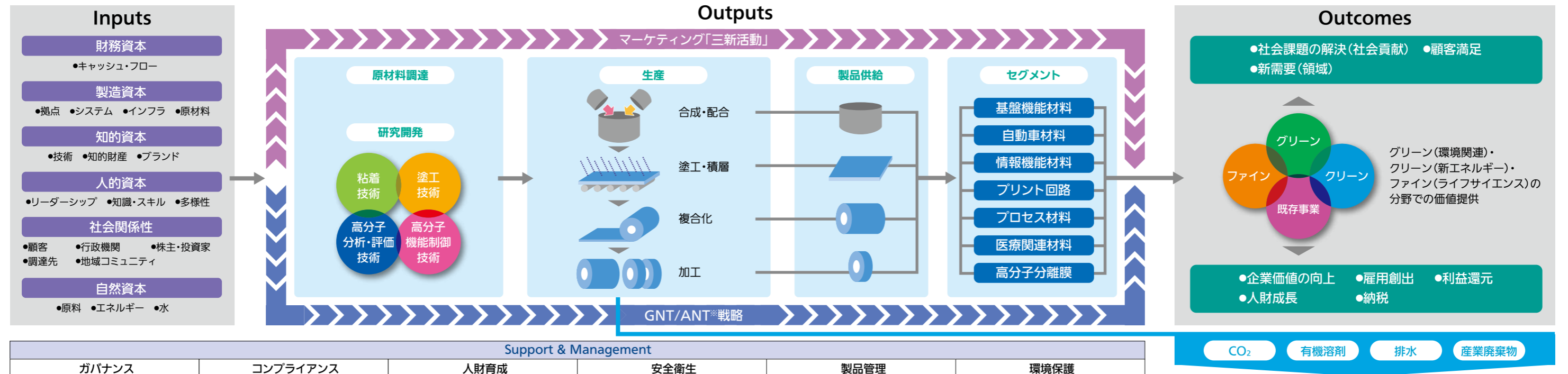
GRIガイドラインなどを参考に、企業報告として取り上げる重要課題をCSR委員会が決定します。



■レポートिंगの重要課題

項目	課題	考え方	掲載ページ
安全衛生	●事故管理 ●安全文化の醸成 ●安全活動の推進	従業員の安全と健康はステークホルダーからの関心も高く、健全な事業活動の基本条件であることを認識し、最重要課題として「経営理念」のトップに位置付け、安全・安心な職場の構築を目指しています。	P9、13
事業ポートフォリオ変革	●オプトロニクス事業での高シェア維持 ●グリーン・クリーン・ファイン領域で新事業創出	中期経営計画「Nitto-2018」に組み込まれています。	P10
継続的な構造改革	無・減・代の徹底		
環境保護	●環境保護推進体制の強化 ●事業活動に伴う環境負荷の削減	事業活動が環境に与える負荷は、ステークホルダーの関心が極めて大きいため、サプライチェーン全体で環境負荷の低減に取り組んでいます。	P11、14、31-34
経営インフラ・リソース	成長を支える人事制度、組織強化	グローバル企業として、経営インフラ・リソースの強化と多様な人財の活躍は必要不可欠です。また、国・地域の法令のみならずグローバルスタンダードに沿った雇用が守られているかは、ステークホルダーの大きな関心事です。	P15
雇用	多様な人財の雇用、育成、活躍		
コンプライアンス・人権	サプライチェーン全体でのコンプライアンスの徹底および人権啓発	倫理的な行動を含めたコンプライアンスを「共通の価値観」として位置付けるとともに、人権擁護についても方針を定め、サプライチェーン全体でグローバルスタンダードの遵守に努めています。	P16
リスクマネジメント	リスク抽出と対策	Nittoグループを取り巻く環境には、さまざまなリスクが潜在しています。これらを理解し、ヘッジすることは、健全な事業活動のために必要不可欠な要素です。	P25-27
事業継続	BCMへの取組み	供給責任を果たすために、自然災害を含め想定しうる様々な緊急事態に備え事業継続可能な体制を確保しています。	
製品管理	化学物質、品質、調達および物流の管理	メーカーとして、お客様に求められる品質の製品を、必要な時に必要数お届けするために、製品にまつわる管理を常に最適化しています。	P28-30
社会貢献	地域社会とのよりよい関わり	地域社会と共存し共に発展するために、さまざまな形で利益を還元することが重要であると考え、そのひとつとして、社会貢献活動を行っています。	P39-40

価値創造プロセス



※ GNT: グローバルニッチトップ ANT: エリアニッチトップ